

平成27年度

第3回 産学官交流プラザ

「地域イノベーション戦略支援プログラム 平成27年度第1回事業推進セミナー」を兼ねています ♪♪

日 時：平成27年 **10月8日**（木）午後1時30分～午後4時

場 所：大仙市協和市民センター「和ピア」1F 第一研修室（大仙市協和船岡字大袋1-7）

会 費：無 料

申込み：裏面（資料2）の申込用紙に必要事項をご記入のうえ、秋田県学術振興課あてに「FAX」または「メール」にてお申し込みください。

講演会のプログラム



【基調講演】午後1時40分～午後2時40分

「素材生産及び木質バイオマスの計画的・安定的な供給について」

ノースジャパン素材流通協同組合 常務理事 高橋 早弓 氏

私どもは、岩手県内の素材生産事業者やその関係団体が集まって平成15年4月1日に設立された協同組合です。平成27年4月1日現在の組合員数は116名になります。主な業務内容は、「組合員が生産する素材及び木質バイオマスの委託による共同販売」「組織の拡充整備と流通機能の多様化」「環境と森林整備」「組合員の経営基盤の強化と技術の向上」としております。平成26年度の素材取扱量は合板工場や集成材工場向けを主体に27万4千 m^3 ですが、そのうち、バイオマス材として4万1千 m^3 を取り扱っています。この講演では、私どものこうした取組の概要についてご紹介しながら、計画的・安定的な素材の生産・供給のあり方について皆様と一緒に考えていきたいと思います。

【事例等の発表】午後2時40分～午後3時40分

「スギ資源賦存量と供給量の長期的シミュレーション」

秋田県立大学 木材高度加工研究所 特任助教 瀧 誠志郎 氏

県内のスギ人工林における齢級構成は9～10齢級（41年生～50年生）を中心とした釣り鐘型をしており、一般的な最適伐期に達している林分が多くあります。その一方で、8齢級未満に目を向けると若齢級の面積と蓄積量が非常に少ない状況にあります。このような現状のスギ人工林は「原木需要に対してどの程度の供給ポテンシャルを持っているのだろうか？」また、「安定供給に向けてどの程度の持続可能性を有しているのだろうか？」。この講演では、「需要量の皆伐と皆伐後の再造林」を毎年繰り返して行った場合に、資源の賦存量と皆伐に伴う供給量がどのように変化するかを100年間にわたってシミュレーションした事例をご紹介します。

「未利用間伐材を微粉碎した牛の木質飼料の開発～日本の林業の再生と畜産経営の安定化を目指して～」 秋田工業高等専門学校 物質工学科 教授 上松 仁 氏

日本の木の年間成長量は7,400万 m^3 ですがその26%しか利用されていません。その原因は建築材としての需要が十分でないからです。そこで、バイオマスとしての新たな木材需要の創出が求められています。一方、日本の畜産は飼料穀物を輸入に依存しているため、近年の配合飼料価格の高騰により酪農経営は未曾有の危機に直面しています。栄養価が高く安定品質で安定供給できる国産の飼料の開発が求められています。この講演では、林業の再生と畜産経営の安定化を図るために、未利用間伐材等を微粉碎して消化率を高めた安全で安価な木質飼料の開発の現状をご紹介します。

【意見交換】午後3時40分～午後4時

主 催：秋田県、秋田産学官ネットワーク、秋田県立大学、雄物川流域林業活性化センター

共 催：木質系バイオマス資源を活用したバイオリファイナリー技術によるビジネスシステム開発研究会

FAX番号 018-860-1225

産学官交流プラザ参加申込書

企業・団体名		
E-mail :		
参加者名	役職	御氏名
参加者名	役職	御氏名
参加者名	役職	御氏名

※ ご記入いただきます個人情報は、当日の受付業務や参加者に配布する参加者名簿のほか、当課からのプラザ開催のご案内等にものみ使用します。

◆ 申込み・お問い合わせ先

産学官交流プラザに参加をご希望の方は、参加申込書に必要事項をご記入のうえ、**9月30日(水)までに秋田県学術振興課あてに「FAX」か「メール」で送信して下さるよう** お願いします。

秋田県企画振興部 学術振興課
 科学振興・産学官連携班 齊藤・田村
 TEL : 018-860-1262
 FAX : 018-860-1225
 E-mail : collabo-akita@mail2.pref.akita.jp



<会場への案内図>

秋田産学官ネットワークについて

「秋田産学官ネットワーク」は平成23年4月に発足し、現在、商工団体、企業団体、大学等および県内の産業支援機関など35の団体等が参画しています。

本ネットワークでは年6回の交流会等で参画機関同士の連携意欲を高め、企業ニーズと大学や公設試の研究シーズのマッチングや事業化に向けた共同研究、更には県域を越えた連携の促進を図っていきます。また、研究シーズや産学官連携などの情報発信を行うポータルサイトを開設しています。下記記載のURLからお入りいただけますので、是非ご覧になってください。

<秋田産学官ネットワーク事務局 連絡先>

秋田市手形学園町1番1号 秋田大学ベンチャーインキュベーションセンター百周年記念館1階
 TEL:018-889-3004 FAX:018-837-5356 <http://www.collabo-akita.net/>